



羅臼町議会だより



しれとこ

第4回定例会・第5回臨時会	2~4
一般質問	5~7
Zoom up! 令和4年第二回羅臼町高校生一日議会 ..	8~11
委員会サロン 総務民生常任委員会行政視察	12
経済文教常任委員会行政視察	13

令和5年

第**174**号

2月10日



羅臼岳

令和4年度 第4回定例会

行政報告…………… 3件	条例改正…………… 4件
令和3年度各会計 決算特別委員会報告… 6件	条例制定…………… 3件
〈補正予算〉	発議…………… 2件
一般会計…………… 件	
国民健康保険事業…… 件	
介護保険事業…………… 件	
後期高齢者医療事業会計… 件	
診療所会計…………… 件	
水道事業会計…………… 件	

一般会計 8億924万円追加 総額63億9,223万円

議会議員に要する経費	14万円
庁舎管理に要する経費	351万円
一般行政に要する経費	1億7,498万円
コミュニティセンター管理に要する経費	11万円
国後展望塔に要する経費	37万円
電算システム等に要する経費	22万円
道知事・道議会議員選挙に要する経費	70万円
防災対策に要する経費	△30万円
福祉・介護職人材確保に要する経費	72万円
障がい者自立支援事業に要する経費	330万円
特別会計繰出金に要する経費	△199万円
子育て支援に要する経費	93万円
児童手当等支給に要する経費	1,801万円
新型感染症対策に要する経費	247万円
新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費	1,369万円
特別会計繰出金に要する経費	△657万円
一般廃棄物最終処分に要する経費	5億8,813万円
林業行政に要する経費	△75万円
峯浜漁港環境施設管理に要する経費	15万円
温泉供給に要する経費	329万円
新型感染症対策に要する経費	153万円
小学校の管理に要する経費	359万円
中学校の管理に要する経費	149万円
幼稚園の管理に要する経費	15万円
郷土資料館に要する経費	16万円
体育館管理運営に要する経費	139万円
給食センター管理運営に要する経費	84万円
給与費	△339万円

国民健康保険事業特別会計 1,377万円追加 総額10億620万円

共同電算化に要する経費	25万円
一般被保険者療養給付費	1,000万円
一般被保険者高額療養費	500万円
保険事業高額療養費	5万円
保険給付費等交付金償還金	65万円
給与費	△228万円

介護保険事業特別会計 157万円減 総額4億9,402万円

職員費	△157万円
-----	--------

後期高齢者医療特別会計 31万円減 総額7,667万円

広域連合納付金	△31万円
---------	-------

国民健康保険診療所特別会計 8,130万円減 総額2億1,040万円

スプリンクラー改修	△8,130万円
-----------	----------

水道事業会計 2,644万円減 総額3億3,806万円

収益的収入及び支出	△660万円
資本的収入及び支出	△1,984万円

羅臼町各会計決算 特別委員会審査報告

- ・令和三年度目梨郡羅臼町一般会計
- ・令和三年度目梨郡羅臼町国民健康保険事業特別会計

- ・令和三年度目梨郡羅臼町介護保険事業特別会計
- ・令和三年度目梨郡羅臼町後期高齢者医療事業会計
- ・令和三年度目梨郡羅臼町国民健康保険診療所事業特別会計

- ・令和三年度目梨郡羅臼町水道事業会計

以上六件について、本委員会は認定と決定しました。



ゴミ処理最終処分場



ゴミ処理最終処分場



緑町公営住宅

令和4年度 第5回臨時会

一般会計（抜粋）

子育て世帯臨時特別給付金（電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援）	2,385万円
高齢者世帯等生活支援給付金	582万円
知床らうす海鮮福箱事業費負担金	300万円
原油価格物価高騰対応・事業者支援事業補助金	2,460万円

請願

市町村議会に対する農業生産資材高騰対策対応に関する請願書

＜要旨＞新型コロナウイルスやウクライナ情勢、円安進行等による飼料、肥料、燃料といった営農に必要な可欠な農業生産資材の高騰により、農業生産基盤の維持・存続が危機的な状況である。

過去に経験したことのない急激な価格高騰に対し、万全な支援水準になるよう地域実態に応じた市町村の影響緩和対策を求める。

標津町字川北基線西二

標津町農業協同組合

代表理事組合長

下西和夫

羅臼町高齢者世帯等生活支援事業の概要

＜目的＞コロナ禍における原油価格や物価の高騰の影響を受ける低所得の高齢者世帯及び障がい者世帯、ひとり親世帯に対して、その影響緩和を目的とし、給付金を支給することで生活の安定と福祉の増進を図ることを目的とする。

＜給付額＞

・一世帯あたり

二〇,〇〇〇円

羅臼町原油価格物価高騰対応・事業者支援事業の概要

＜目的＞新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が続く中、原油価格又は物価高騰により、更なる経済的な影響を受けている町内事業者の経営の持続を図るため、補助金を交付するもの。

＜想定される事業者数＞

五八〇件

法人（二四〇件）

個人事業者（三四〇件）

＜支援金額＞

法人

六〇,〇〇〇円

個人事業者

三〇,〇〇〇円

＜申請受付期間＞

令和四年十一月二十八日～

令和五年一月三十一日

水産物流通改善支援事業

【知床らうす海鮮福箱】の概要

＜目的＞新型コロナウイルス感染症が経済的に甚大な影響をもたらし続けているなか、停滞する水産物の流通を促進し、町内の消費喚起及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

令和四年度子育て世帯等臨時特別支援事業の概要（電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金）

＜目的＞物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯

等）に対して、プッシュ型給付を行うこととされたことを踏まえ、臨時的な措置として、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金（電力・ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金）として給付することを目的に実施する。

＜給付額＞

・一世帯あたり

五〇,〇〇〇円

＜支給開始予定＞

・案内発送…

十二月上旬予定

・支給開始…

十二月中旬予定



「知床らうす海鮮福箱」配布

「こじが聞きたい」一般質問Q&A

3人の議員が
質問しました

一般質問とは、議員が町の事務の執行状況や将来に
対する考え方などの報告や説明を町に求め、適切な町
政運営を進めているか議員がチェックするものです。
この議会たよりでは、議員本人が執筆（要約）した
ものを掲載しています。

高島 讓二議員



空き家問題について

質問

人口減少問題とともに「空き家」の問題も発生し、明らかに管理されていない空き家が目立ちます。

町の中心部にあった店舗が先月解体されましたが、その裏にあった三軒の空き家がひどい状態で曝されています。

壁が畳二畳分ほどの大き

さで崩れ落ち、室内の家具などもそのまま置かれ吹き曝しの状態で残されており、他の二軒に至っては、屋根の陥没、壁のドアの損壊等明らかに管理されていない状態が見て取れます。

このまま放置されれば倒壊の恐れがあり、地域の住民の生活環境に対し多大な影響を及ぼしかねない。

また、表の道路はメインストリートで通学路でもあるので、防災上の問題や景観においても大きく損ねています。

これらの建物は、「※特定空き家」に認定されるのではないのでしょうか？

これら防災上問題がありそうな「特定空き家」は、持ち主に適切に管理してもらうよう強く働きかけを行

うべきだと思いますが、町長のお考えは？

当町における管理されていない空き家は何軒あり、そのなかで倒壊の恐れのある空き家は何軒か、その他に倉庫もあるのか、固定資産税の有無も合わせてお聞きします。

町長 漆 空き家対策を推進していく

現在当町の空き家軒数は百五十九軒、管理が行われていない近隣に対し問題のある住宅等が十五軒、倉庫等が十三軒、合わせて二十八軒と把握している。

これら建物所有者等に対しては、注意喚起や助言、指導を行っている。当町が空き家を把握して

から二十六軒が問題解消されており、そのうち九軒が解体されています。

人口減少や人口流出等により、今後も空き家が増加すると推測される。

このことから、適切な管理をするため「空き家等対策計画」を令和五年度中に策定し、空き家対策を推進していきます。

固定資産税については、適切に収納している。

※特定空き家とは

平成二十六年に制定された「空き家対策の推進に関する特定措置法」で定義されている。

* 倒壊等著しく保安上、危険となる恐れのある状態。
* 著しく衛生上有害となる恐れのある状態。

* 適切な管理が行われない事により著しく景観を損なっている状態。

* その他周辺の生活環境の保全を図るため放置する事が不適切である状態にある空き家等をいう。



空き家バンクに登録済



旧村田呉服店跡

田中 良議員



羅臼町の除排雪について

質問

これから本格的な除排雪の時期となるが、除排雪の体制はどの様になっているのか。排雪場所の確保、また、町民が除雪した雪を排雪する場所等の周知が必要と考えるが、如何か。

大雪発生の際の町民への周知と、雪崩発生予測地点の調査結果と今後の対応・対処はどの様になっているのか。また、羅臼町には雪対策の施設はあるのかお伺いする。

長冬期間における安全で円滑な交通の確保に努めていく

基本的に実施体制は昨年同様であります。町道におきまして、除雪作業をしたことにより雪崩が発生する事案が昨年度ありましたことから、異常気象などにより同様の事象が発生する恐れがある場合は、通行止め等の措置をとり、危険を排除したうえで、通行止め解除をする等の対応をするのととしています。

これまで町道等の排雪場所として、羅臼川河川敷地など町内の四箇所を確保し使用しており、町民が使用できない場所としておりましたが、近年は降雪量も多く、排雪場所も苦慮されることが想定されるため、この四箇所について、町民も利用可能とすることとし、町政だよりにて周知する予定です。

調査点検の結果、対策が必要な箇所として七箇所の報告があり、これらを「北

海道治山事業計画」への施行要望箇所として登録を要請しているが、緑町町管住宅地先を含む緊急を要する箇所として、五箇所にて応急対策を講じて頂いたところであります。本格的な対策工事につきましては、順次実施される予定であり、令和五年より実施するとの報告を受けております。

当町の施設として、雪対策施設はありません。いずれにいたしましても、冬期間における安全で円滑な交通の確保に努めます。



除雪作業中

水産業について

質問

漁業の増養殖事業の現在の進捗状況は。また、次年度に新たな計画はあるのか。漁業生産者等に対し、今回の燃油高の支援の他に施策はあるのか。

長 総体的に確認し、支援屋を講じる必要があれば対応していく

羅臼漁業協同組合の経験・技術、知見に基づいた栽培増殖事業の継続により、根付資源の資源量は安定化傾向にあります。町としても沿岸漁業の資源維持、増産に向け、引き続き支援を実施する。

一次産業の経営実態については、その動向に注意を払う必要があることを認識しており、経営実態などの情報を得ながら、漁獲や魚価、漁獲共済制度など、漁業を取り巻く環境やその状況などを総体的に確認し、

支援を講じる必要があれば対応をしていく。

田中議員その他の質問
・観光の整備について



すけぞ漁荷揚げ風景

加藤 勉 議員



町長 令和五年度末までに一定の方向性を示したい

町内公共交通計画について

質問

高齢者の運転免許自主返納者に対する支援について、先の定例会で一般質問させて頂き、町長から「医療機関への受診、買い物などに自動車を生活の一部として利用していた高齢者に不便をきたすことになり、これを補うため町全体の交通機関のあり方について町民全体の課題として取り組んでいく」と答弁されましたが、現在までの進捗状況についてお伺いします。

今年度の「町長行政執行方針」で新たな交通手段の導入を含め、町内の公共交通計画を検討するつもりだ。

現在の羅臼町の人口は約四、五〇〇人で、運転免許証保有者は約三、二〇〇人です。町民の約七割の方が免許保有者で残りの三割の方は、いわゆる交通弱者といわれる方々になります。今年度より庁舎内に「検討会議」を設置し、新たな交通手段の導入を含めた検討を開始します。

進捗状況ですが、町内の公共交通の課題を洗い出している最中です。

また、北海道が中心となった「釧路・根室地域公共交通計画」の策定も進めており、現在の「釧路・羅臼線」についても関係市町と協議、検討を行っています。

令和五年度末までには、町内の移動手段対策につ

て一定の方向性を示して行きたいと考えている。

公民館の建設について

質問

公民館は耐震診断の結果、平成三十一年に取り壊され、すでに四年を経過しています。一部の機能は体育館の増改築に併せ整備されたが、公民館としての機能が十分とは言えません。

町長は公民館の建設は幼稚園・小学校の一角一園化による空き校舎を利用すると答弁されていますが、その時期についてお伺いします。

町長 令和七年度以降の適正配置計画策定に合わせ

すべての人が豊かな人生を送るためには、あらゆる機会に、あらゆる場所で学習でき、その成果を発揮できる社会の実現が求められています。

このような中で公民館は社会教育の実践の場であり、当町にとって町民の幸福と社会の発展を図る上で必要な施設で有ります。

先の定例会においても小学校と幼稚園の一角・一園化での空き施設の利用が町民にとって有効と説明したところであり、現在もその考えは変わっていません。

令和六年度まで適正配置計画では二校二園を維持していますが、令和七年度以降の計画策定期間に併せて策定できるよう検討していく計画です。

湊屋町政二期目の総括について

二期目の最終年にあたり、就任時に掲げた行政執行方針の達成度についてお伺いします。

町長 安らぎや幸せを感じられる町づくりを目指して

新型コロナウイルス感染



取り壊された公民館

町長二期目 出馬表明

症や世界情勢の影響を受けて厳しい町政運営をしてきましたが、次代を担う若者達の人材育成、子育て支援の充実など様々な支援を行ってきました。しかし、まだまだやらなければならぬことは沢山あったと思います。

Zoom up!

第二回羅臼町高校生の一日議会 11月1日開催



議長 高橋 泰都さん

昨年、コロナウイルス感染症のまん延で開催できなかった三年生による高校生の一日議会が十一月一日、羅臼町議会議場で開催されました。

三十九名の在校生のうち当日は三十六名の生徒が出席、高橋泰都さんが議長を務め、六班に分かれ十四件の一般質問を行い、町理事者に「まちづくりに対する考え」を聞きました。

第一班質問

一、羅臼町の活性化について

現在、日本では急速に人口減少しており、羅臼町でも同様である。

その解決策の一つとして「地域活性化」が挙げられます。具体的には回転し（小規模）、散策コース、学生向けの軽食店のオープンが必要と考えられるので検討したい。

二、羅臼高校給食導入について

現在の羅臼高校では、先生や生徒の多くが十分な食

事が取れていないと耳にする。給食を導入して健康増進を図って欲しい。

質問者 武田 龍星さん
西家 智大さん

町長答弁

一件目は、羅臼町の活性化についての質問ですが、少子高齢化により多くの市町村で人口減少が進んでいます。当町においては、少子高齢化に加え、基幹産業である漁業の低迷により、地域経済が大変厳しい状況などから、人口減少が加速度的に進み、町内では閉店した飲食店や商店等の空き店舗が目立ち、町全体に活気がないと感じています。

町としても新たな産業の創出は重要な課題ですので、企業誘致や開業に向けた支援策を検討しています。地域の活性化、産業の活性化は町の魅力につながり、移住者の増加や企業進出等により活気のある町となります。

そのためにも、基幹産業である漁業の活性化と道の



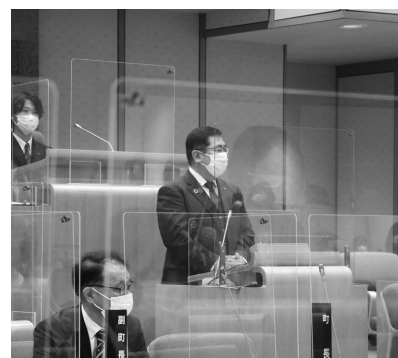
市街地

駅を中心とした観光拠点エリア、市街地の飲食店エリア、湯ノ沢町の温泉エリアと連動した一体的な取り組みが急務であり、羅臼町全体のまちづくりを進めていく必要があります。

教育長答弁

二件目は、高校への給食導入についてですが、高校生の給食を提供するには多くの経費や様々な問題を解決する必要があります。

今後、皆さんと教育委員会で詳細について協議していきたいと考えています。



第二班質問

一、高齢者の健康増進について

高齢者が増加しているなかで、町民体育館に行くことが難しい高齢者が、気軽に参加できる運動施設の設置を要望します。

二、外灯について

海岸町や岬町、ソスケ地区では外灯が少なく、歩行者にとっては危険なため、外灯を更に増やして欲しい。

質問者 尾田汐央莉さん

町長答弁

一件目は、羅臼町の六十五歳以上の高齢者は一、四七五人で、そのうち七十五歳以上は七三四人です。

町では、高齢になっても住み慣れた町で元気に生活が送れるよう「介護予防事業」を実施しています。

更に、町内会館を利用した高齢者サロン等を開催して、体操やレクリエーションを行っています。

しかし、会場までの交通手段の確保が課題と捉え、今後の町内公共交通手段の

確保について検討しています。

二件目は、二年前の高校生の一泊二日協議で同様の質問を頂きました。

道路照明は道路管理者が必要と判断した場所に設置することになっています。

車両及び歩行者の利用状況から、夜間も安心して通行ができるよう今後も引き続き道路管理者と協議を行っていきます。



高齢者いきいきサロン

第三班質問

一、運動公園の整備について

人工芝のある運動公園を整備することによって、スポーツ人口が増え、子供たちの運動不足解消につながり、その結果、子供たちの町外流失の防止につながると思うが。

二、観光客の声に対応したラーメンについて

観光客の声に対応した海鮮ラーメンが羅臼町の名物になるのではないかと。海鮮ラーメンの開発・改善・PRを羅臼町全体でして欲しい。

三、映画の上映を

羅臼町内で映画を見たい。映画は心を豊かにします。遠方に出かけなくても良いように、簡易的な映画館の設置を要望します。

質問者 小倉 遥瑠さん
菅原 彩羽さん

教育長答弁

一件目は、部活動、スポーツ少年団は今ある施設を工夫して活動しています。

施設整備は、スポーツ人口を増やすなど重要な取り組みの一つと考えています。

しかし、最近では少子化で子どもの数が減り、団体スポーツも近隣の町と連携してチームを組織したりしてあります。今後、施設整備の更新時期には、利用しやすい施設整備に心がけていきます。

町長答弁

二件目は、羅臼町全体で統一した商品開発が出来れば「名物」になる可能性もあります。関係団体等と協議していきます。

三件目は、羅臼には昭和二十年代後半に映画館が二軒ありましたが平成二年には廃業となっています。

過去には公民館事業で映画上映会を開催したことがありましたが、当時の機材しかなく、現代の映画上映に対応できるのか不明です。

それに加えてDVD、インターネットでの映画配信を視聴できる時代になっており、映画の上映会の開催は



難しいと考えています。しかし、団体等で映画上映会を開催する場合は、町として協力していきたい。

第四班質問

一、祭りの開催について

羅臼町内はお祭りが少ない。町の活性化のために「お祭り」を増やして欲しい。

二、町営球場の整備について

試合前に相手チームの協力で、グラウンド整備をすることが何度かあった。グラウンド整備を充分行って欲しい。

質問者 森 虎太郎さん

濱屋 伊吹さん

町長答弁

一件目は、羅臼のお祭りは大規模なものとして「知床開き」と「漁火まつり」の二つがあります。

お祭りを開催するには計画から準備まで相当な時間と労力を要することから町主催のお祭りを増やすことは考えていませんが、今後お祭りの見直しの機会があれば、若い世代の意見も取り入れていけるよう考えていきたい。

また、町民の方でお祭り

を実施したいとの要望があれば、町として支援してきます。

二件目は、町営球場の利用は五月から十月までの期間となっています。

期間中は、管理を町内企業にお願いしています。

グラウンドの利用にあたっては、大会で使用する場合は主催者で、その他の場合は利用者がグラウンドの整備をすることになっています。



知床開き



漁火まつり

第五班質問

一、夜行バスについて

羅臼町内から夜行バスの運行をしてほしい。

二、コンビニ又はATMの設置について

質問者 本見 弥佳さん

川端 夏凜さん

町長答弁

一件目は、夜間に中標津町までのバスを運行して欲しいとの要望ですが、現状は、町外行きのバスの運行については、阿寒バスが運行しています。しかし、乗客が少ないため、利益確保が難しく、さらにバスの運転手も不足しており、バスの増便は難しい状況にあります。

二件目は、コンビニの設置は民間業者が開設するものですが、人口規模や敷地の広さなどの設置条件があり、その条件をクリアした方が開設できると聞いています。

コンビニの設置に関しては、場合によっては町もお手伝いできることもあると

思います。

ATMの設置については、設置条件もあり、管理経費等を判断して設置することになります。コンビニの経営者に相談してみたい。





電動アシスト自転車



河川敷



第六班質問

一、学習スペースについて
町内には学習塾がないので、集中して勉強に取り組める学習スペースを作りたい。

二、電動アシスト自転車の活用について

三、町内の公園について

気軽に運動したり、遊べるスペースが少ない。

運動公園は、中心部から離れているので利用しづらい。

河川敷や漁港の近くで景観を活かした子供たちが遊べる遊具を設置し、町の中心部に公園を設置願いたい。
質問者 岩井 海斗さん

教育長答弁

一件目は、毎年全国の小学六年生と中学三年生を対象とした全国学力・学習状況調査において、二年連続で当町内の小学生は全国平均を上回っています。中学生においては全国平均を大きく下回っており、町内の児童・生徒の学力向上に一層の取り組みが必要と感じています。

提案のあった現在使われていない建物の有効活用には時間が掛かることから、教育委員会と羅臼高校が協力し、高校の校舎を活用した環境整備に努めていきます。

町長答弁

二件目は、羅臼町は二〇五〇年には、温室効果ガスの排出実質ゼロを目標としています。

電動アシスト自転車の活用は温室効果ガスの排出抑制にもつながることから、役場でも電動アシスト自転車二台を購入して利用しています。

高齢者や観光客に貸し出してはどうかとのご提案ですが、観光客への貸し出しについては「観光協会」や「民間業者」との協議を行っていきます。

高齢者を含む町民への貸

し出しは考えていませんが、積極的に利用して頂きたいと思えます。

しかし、冬期間の利用や価格の問題もあり、普及には難しい状況にあります。電動アシスト自転車の普及促進について努力していきます。

三件目は、現在、町内中心部には子供たちが遊べる屋外の公園は設置されていません。町が策定した「第二期子ども・子育て支援事業計画」では「身近な遊び場の確保」として「既存の施設の有効活用」を掲げています。屋内施設ではあり

ますが、昨年六月に耐震工事を終えた町民体育館「らうすぽ」に低学年利用のプレイルームを設置しています。質問にある「河川敷」は制約がありますが、町民の集える場としての利用を検討していきます。

また、令和七年度からスタートする第三期計画には、人口の推移を見ながら、必要な施策を検討していきます。

委員会サロン

各常任委員会行政視察

総務民生常任委員会

町内・町外などの関連施設・団体等の活動状況を議会として把握するため、行政視察を十一月二十五日に行いました。

今回の視察は

①中標津町にある根室北部廃棄物処理広域連合の「リサイクルセンターくると」

②峯浜町に建設中の根室北部衛生組合最終処分場建設現場

③知床らうす国保診療所の温泉暖房施設

の三件について視察しました。

「リサイクルセンターくると」

中標津町・標津町・羅臼町の三町で排出される資源ゴミの分別収集と資源化によるゴミの減量化を目指した施設で、平成十六年から稼働しています。

施設は約一日四、九トンの処理能力を持ち、空缶圧



縮機、ガラス瓶破砕機、その他紙製容器・紙パック・プラスチック製容器包装・段ボール・ペットボトルの圧縮梱包機等を備えた処理施設となっています。

地域から出る再生資源の利活用に向けて、資源ゴミの集積と減容化を担う施設として「くると」の愛称で呼ばれています。

担当者から、持ち込まれるゴミの中には、マスクや製品プラスチック、汚れているプラスチックゴミなども含まれており、分別に苦勞していると伺いました。

最終処分場建設現場

中標津町、標津町、羅臼町で運営する一般廃棄物最終処分場は現在、標津町崎無異で稼働しています。令和五年度から羅臼町峯浜町に移転することになり、国道三三五号線から六、六キロほど離れた農道沿線に建設が進められています。

埋立場は、環境に配慮して浸出水処理方式の屋根付きの建物となります。前処理破砕施設と併せて工事が進められています。



診療所温泉暖房施設

知床らうす診療所で使用する暖房は、温泉水による暖房施設となっています。

温泉成分によって、導水管の腐食等が生じ、メンテナンスが大変とのこと。更に、スプリンクラーの設置が義務化されましたが、原材料費の高騰により延期となっています。



委員長 加藤 勉
副委員長 田中 良
委員 鹿又 政義
委員 佐藤 晶

経済文教常任委員会

十一月九日公共施設の現状について

ゴミ処理最終処分場建設現場、旧釧路信用組合社屋（図書館に改築予定）、羅臼町温泉供給施設、湯ノ沢浄水場の視察を行った。

ゴミ処理最終処分場

標津町との協定により、標津町崎無異にあった最終処分場を令和四年度まで使用し、令和五年度より供用開始となる羅臼町峯浜町に作られている新たな施設の建設現場を視察した。

国道より山側に六、六km入った地点に建設されている。

資材調達に遅れが生じ、八月より受け入れ開始との事。

埋め立て面積は一、七九一㎡、被覆型へ屋根付きクローズ型であり、環境にも対応した施設である。

総工費は約二十六億二千七百万円であり、標津町との折半である。



ゴミ処理最終処分場

旧釧路信用組合社屋

図書館に改築するとして、町は撤退した釧路信用組合の社屋約三百五十㎡及び敷地約七百二十七㎡を価格約六千六十三万円で購入した。二階からは、国後島を一望しながら本を読むことが出来る最高の場所であるが、改築案の公表は、二月下旬になる予定である。

羅臼町温泉供給施設

現在三本の井戸があり、一号井は昭和五十八年から使用で、普段メインで使用しているのは五号井で毎分一、二〇〇ℓの出湯量であり、現在の状態は十分な量である。

スケールにより出湯量の減量があるが、年間三〜五回スケールを除去している。一号井は五号井のバックアップとして使用し、その場合は毎分一、〇〇〇ℓでギリギリの出湯量となる。令和五年度には、現在使用している五号井と四号井を更に深く掘削する計画がある。



旧釧路信用金庫

湯ノ沢浄水場

湯ノ沢浄水場は、平成七年に完成してから既に二十七年の歳月が流れている。海岸町から幌萌町までを網羅する羅臼町の大切な水瓶である。

しかしながら、機器類の老朽化に伴い機材交換、維持管理に予算が必要となるのは必然であり、計画を立てて機材を交換していくことになる。更には、水道管の交換も随時必要となってくることで、頭の痛いところである。



羅臼町温泉供給施設

- 委員長 高島 讓二
- 副委員長 坂本 志郎
- 委員 村山 修一
- 委員 松原 臣
- 委員 小野 哲也



湯ノ沢浄水場



湯ノ沢浄水場

議会の動き

10 月

- 4日 第1回決算特別委員会（以下10/18・10/19・11/10
計4日間審査） 議長・議員4名
- 11日 議会だより編集特別委員会 議員4名
- 17日 議会改革特別委員会プロジェクト会議 議員4名
- 23日 別海町町制施行50周年記念式典及び生涯学習センター落成
記念式典（別海町） 議長
- 25～26日 ロシアトロール船操業停止要請活動（札幌市・東京都）
議長
- 26日 議員と高校生との懇談会 議員6名
- 28日 根室町村議会議長会主催議員研修会（中標津町） 議員6名

11 月

- 1日 令和4年第2回羅臼町高校生一日議会（3年生） 議員6名
- 9日 第66回町村議会議長全国大会（東京都） 議長
経済文教常任委員会行政視察 議員5名
- 10日 令和4年度羅臼町表彰式 副議長
- 12日 巡視船さろま就役式典（根室市） 議長
- 14日 議会だより編集特別委員会 議員4名
- 18日 議会運営委員会 議員5名
- 21日 令和4年第5回臨時議会 議員8名
- 24日 行政と議会議員との懇談会 議員9名
議会改革特別委員会 議員9名
全員協議会 議員9名
- 25日 総務民生常任委員会行政視察 議員4名

12 月

- 1日 北方領土返還要求中央アピール行動「アピール行進」
（東京都） 議長
- 5日 議会運営委員会 議員6名
議会改革特別委員会 議員9名
- 9日 議会運営委員会 議員6名
令和4年第4回定例議会（1日目） 議員9名
全員協議会 議員9名
- 12日 経済文教常任委員会 議員6名
- 13日 総務民生常任委員会 議員4名
- 14日 議会運営委員会 議員6名
令和4年第4回定例議会（2日目） 議員8名
議会運営委員会 議員6名
行政と議会議員との懇談会 議員8名
- 22日 令和4年度根室町村議会議長会第1回臨時総会 議長・副議長
- 26日 行政懇談会 議長

令和5年1月

- 4日 令和5年羅臼消防団出初式 議長
- 7日 令和5年羅臼町二十歳のつどい 議長
- 17日 議会改革プロジェクト会議 議員4名
議会だより編集特別委員会 議員4名
- 24日 町長・議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会
（中標津町） 議長

北海道社会貢献賞 （自治功労）を受賞 しました



この度、加藤 勉議員が町職員並びに議会議員として永きにわたる自治活動を認められ、北海道より社会貢献賞が贈られました。

12月13日、第4回定例会に於いて町長より伝達されました。
おめでとうございます。



編集を終えて

現メンバーによる議会だよりの発行も、今号を以て終了となり、この四月には選挙が行われる。「ふるさと羅臼」を愛する方々の新しい立候補が望まれる。議会モニターの方々と共に議会について色々な研究会・勉強会を行い、議会の活性化等について話し合ってきた。そのことを踏まえながら来期に活かしてほしいと願う。

このメンバーでの編集は終わるが、新メンバーによる「議会だより」で又、お会い致しましょう。

田中 記

